

4月の野菜の見通し

令和3年3月29日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	9,487	少ない	10,428	112	85%	98	-	-	神奈川県産が前進傾向で例年より若干早めに終了の見込み。千葉県産が生育順調なことと気温上昇による需要減退で中旬以降の価格は下落の気配。数量は前年・平年並み、単価は前年より1割安いが平年並み。
はくさい	6,485	多い	6,338	188	24%	109	-	-	茨城県産は作付増かつ生育順調。4月上旬から春作の増加で相場軟化の気配。前年はコロナ渦の中、キムチが免疫を高めるとの触れ込みがあり高値だったが、今年度は特需なく、前年・平年を大幅に下回る水準。
キャベツ	17,728	並み	18,582	139	61%	110	-	-	神奈川県産は生育順調。春キャベツ需要が高まり中旬にかけて引合いが強まるが、中旬以降は出荷ピークとなり相場軟化の気配。数量は前年比微増、平年並み。単価は特需なく、前年・平年を大幅に下回る。
ほうれん そう	1,260	多い	1,213	559	77%	495	-	-	茨城、群馬、埼玉産の生育は若干前進傾向ながら順調に推移。数量は前年・平年よりやや多い。単価は前年・平年より大幅に安い。
ねぎ	3,635	並み	3,628	301	143%	315	5	0.1%	埼玉産は干ばつの影響から作柄が良くない。千葉、茨城産も細物傾向。数量は前年・平年よりやや少なく、単価は前年・平年を大幅に上回る。
きゅうり	6,932	並み	7,272	288	87%	255	14	0.2%	群馬、埼玉産等、中旬には生産者がまとまり増加へ。東北の早出し物も出て価格の下げ気配強まる。数量は前年・平年並み。単価は前年より1割以上安いが平年並み。
トマト	6,132	少ない	7,379	412	73%	369	-	-	熊本、栃木、愛知産の作柄は概ね良好。数量は前年より多いが平年をやや下回る。今後関東産の増量で単価は下落の気配。前年より2割以上安く、平年比2割近く安い。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)